

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況及び効果検証

(単位:円)

計画書 No	補助 ・ 単 独	交付対象 事業の名称	款項目	事業名	担当課	計画申請書の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費	国庫 補助額	交付金 充当額	その他	実施状況	事業実施による効果(評価)
1	単	感染予防対策事業	4-1-2-5	新型コロナウイルス感染症対策事業	総務課	①町民・職員の感染予防対策に資するもの ②感染予防等物品の購入、次亜水等感染予防物資の配布等委託 ③感染予防物品(消耗品費)1,000,000円 感染予防薬剤等配布委託 1,718,400円 ④町民、職員	R3.4	R4.3	2,180,966		2,180,966		消毒出勤回数 1,920回 8箇所×20回/月×12月 対象施設8箇所(学校4箇所、保育園4箇所) 次亜塩素酸水回数 383回(生成量 6702ℓ)	感染予防備品の配備と次亜塩素酸による施設消毒により、感染者の発生リスクを低減させることができた。
2	単	未来に使える応援チケット購入事業	6-1-1-6	未来に使える応援チケット購入事業【第2弾】	企画政策課	①町内飲食店の売上が落ち込んでいるため、お得な前売りチケットを作成・販売し、町内ですぐに現金が循環するような仕組みを作る。 ②観光協会補助金 ③チケット・チラシ作成費 2,000千円、飲食店補助金 15,000千円 ④観光協会	R3.5	R4.3	14,998,770		14,998,770		南部町観光協会に業務を委託。 町内飲食店で1冊6,000円分の飲食券を3,000円で販売し、差額を補助した。 ・販売期間 令和3年7月～令和4年2月 ・参加店舗数 24店舗 ・総販売冊数 4,706冊	町内飲食店が前売り飲食券を販売することですぐに現金を得ることができ、経営安定化を図ることができた。 また、割引価格で飲食券を購入できることから、町民の生活支援にもつながった。
3	単	生活支援・地域活性化事業	6-1-1-8	生活支援・地域活性化事業	企画政策課	①②地元経済が冷え切っている中で、町民の生活を支援するとともに地元経済の活性化を図るため、町内限定で使用可能な商品券を配布。 ③5千円×10,600人=53,000千円 郵送料 2,080千円 委託料 3,800千円 消耗品費20千円 ④南部町に住民票を有する個人	R3.6	R4.3	55,519,368		55,519,368		商品券5,000円分(500円×10枚綴り)を10,542人に配布。 ・配布合計額 52,710,000円 ・使用合計額 51,558,000円 ・使用率 97.8% ・使用期間 令和3年9月～令和4年1月 ・使用事業者 54事業者	コロナ禍で地元経済が冷え切っている中、全町民の生活を支援するとともに、地元経済の活性化を図ることができた。
4	単	観光誘客支援事業	6-1-2-9	観光誘客支援事業	企画政策課	①コロナ禍において外出自粛が続く中、比較的感染リスクの少ない観光施設「とっとり花回廊」への誘客を図るため、町民限定で年間パスポート割引を行う。 ②とっとり花回廊が実施する割引への補助金 ③補助金(2千円×1,255人)+(千五百円×400人)=3,110千円 チラシ・ポスター作成委託料 150千円 ④とっとり花回廊	R3.4	R4.2	2,847,500		2,847,500		町民限定でとっとり花回廊年間パスポートの入会を以下のとおり補助した。 ・補助額 大人2,000円(実質1,000円) 小中学生1,500円(実質無料) ・対象期間 令和3年4月～令和4年2月 ・利用者 大人1,240人 小中学生146人	コロナ禍において外出自粛が続く中、町民に比較的感染リスクの低い屋外施設である「とっとり花回廊」で余暇を楽しんでもらい、施設への誘客を促進することで経済の地域内循環を図ることができた。
5	単	移動販売者による地域の生活支援事業	2-1-10-7	緊急見守り買い物支援事業	企画政策課	①移動販売を実施する事業者を支援することで町民の買い物支援を行い、買い物での密集を防止する。 ②地域の移動販売者への運営補助 ③補助対象経費×1/2(上限2,300千円) ④地域の見守り協定を締結した移動販売者	R3.6	R4.3	2,058,000		2,058,000		・運行期間 令和3年4月～令和4年1月 ・年間のべ利用客数 4,674人 ・販売箇所 48箇所/週	移動販売車への経費支援を行うことで、移動販売事業の継続につながり、コロナ禍で外出困難となった中山間集落等の人々の買い物支援が行えた。
6	単	公共交通対策事業	2-1-9-7	公共交通対策事業	企画政策課	①町営バスの便数を増やすことで、新型コロナウイルス感染リスクを軽減させる。 ②増便に係る経費 ③委託料4,151千円(北部1,779千円、南部2,372千円) ④町営バス運行委託事業者	R3.5	R4.3	4,151,000		4,151,000		増便運行(北部デマンド線2便分) ・運行期間 北部 令和3年5月～7月、8月～令和4年3月 利用者数 5,335人 ・運行期間 南部 令和3年5月～7月、8月～令和4年3月 利用者数 1,212人	コロナ禍において、感染を防止する目的で増便及び続行便を運行したことにより、感染リスクを抑えることができた(公共交通機関利用による明確な感染ルートの報告は受けていない)。また利用者には安心して乗車して頂く環境を提供することができ、安心安全な移動手段の確保、ひいては地域活動に寄与した。
7	単	分散勤務等業務継続事業	2-1-1-10	分散型勤務業務継続事業	デジタル推進課	①新型コロナウイルス感染症拡大により、WEB会議等が推奨される中、円滑に業務遂行できるようWEB会議の参加はもとより、分散勤務、自宅テレワークでの活用を図る。 ②パソコン調達 ③備品購入費 92千円×15台×1.1=1,518千円 ④地方公共団体	R3.6	R4.3	1,293,600		1,293,600		WEB会議用PCを15台購入し、各課13箇所へ配備した。	昨今接触を避けるためのWEB会議が主流となっているが、PCの数に限りがあったため、会議が重複した場合には日程変更をせざるを得ない状況であった。今回各課へ専用PCを配備することで、各課の想定通りのWEB会議を実施できるようになった。
10	単	新型コロナウイルス感染症電話相談設置事業	3-3-1-1	生活保護総務一般	福祉事務所	①電話相談窓口を設置することにより、住民の生活困窮や不安の解消につなげる。 ②役員費 ③電話相談窓口のスマートフォン通信料 4,711円×12か月 ④地方公共団体	R3.4	R4.3	56,536		56,536		専用電話相談窓口を設置した。対応回数3回	新型コロナウイルスの相談窓口を各部署に設置していたこともあり件数は少なかったが、心配な時の相談窓口を開けていることで、関係部署へつなげられた。
11	単	南部町森林公園キャンプ場敷地整備工事	5-2-3-1	森林公園周辺管理事業	産業課	①町の観光誘致における拠点となっている緑水湖周辺。コロナ禍において、宿泊や飲食施設が大きな経済的損失を受けている中、感染リスクが比較的低い野外活動の需要が高まっている。今後、都会から田舎への人の流れを見込んだ環境整備としてキャンプサイトの区画整備を行い、誘客促進を図ることを目的とする。(使用できるサイト数を5区画から8区画に増やす。) ②区画整備に必要な整地費用 ③敷地整備工(524㎡) 1,228,700円 ④指定管理施設 森林公園キャンプ場	R3.10	R4.3	1,155,000		1,155,000		サイト数を増設するため敷地整備工事を実施 ・サイト数 5区画から8区画に増設 ・敷地整備面積 524㎡ ・工事費 1,155,000円	コロナ禍における感染リスクが低いとされる野外活動、特にキャンプ需要の高まりがある中で、当該キャンプ場はサイト数(区画数)等の課題から予約希望に対応しきれない状況があった。当該キャンプ場の利用者実績は、令和元年度135組から令和3年度253組と倍増しており、本事業を実施しサイト数を増設したことで、さらなる利用者数の増加を見込んでいる。 課題としていた利用者ニーズへの対応、また、観光事業を含めた誘客促進に大きな効果があるものと検証する。

計画書 No.	補助 ・ 単 独	交付対象 事業の名称	款項目	事業名	担当課	計画申請書の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費	国庫 補助額	交付金 充当額	その他	実施状況	事業実施による効果(評価)
12	単	就学援助世帯 支援拡充事業	9-1-2	9-1-2-6児童 生徒就学援 助・奨励事業	総務・学校教 育課	①家計急変後の所得額に対応した額で就学援助世帯を 認定する。 また、就学援助世帯に臨時休業中の昼食代の補助を行 う。 ②家計急変世帯への援助及び就学援助世帯への昼食代 補助に係る経費 ③家計急変世帯援助 70,000円/人×5名=350,000円 就学援助世帯昼食代補助 小学生253円/食×20回×65名=328,900円 中学生302円/食×20回×38名=229,520円 合計 908,420円 ④小・中学校の保護者	R3.4	R4.3	-		-		家計急変世帯援助 0人 (申請がなかったため) 就学援助世帯昼食代補助 0円 (町内一斉の臨時休業がなかったため)	実際の申請はなかったが、本事業について児童 生徒のいる全世帯に対して広く周知し、コロナ禍 において家計が急変した場合の不安を軽減する ことができた。
13	単	学習環境安心 安全確保事業	9-3-2-1 9-1-2-17	9-3-2-1(中学 校教育振興 費)2,760千円 9-1-2-17(学 校経営校長戦 略)198千円	総務・学校教 育課	①デジタル教科書及び学習支援ソフトを臨時休業時の遠 隔授業で活用するとともに、教室の感染予防効果や学校 再開時の学習効果を高める。 ②デジタル教科書及び設定、学習ソフト使用に係る経費 ③指導者用デジタル教科書購入 810,700円×2校=1,621,400円 デジタル教科書設定手数料 198,000円×2校=396,000円 学習ソフト使用料 264,000円×2校=528,000円 198,000円×1校=198,000円 合計 2,743,400円 ④小学校・中学校	R3.4	R4.3	2,714,800		2,714,800		指導者用デジタル教科書を中学校2校に購入及 び設定した。 また、学習ソフトを小学校1校、中学校2校に整備 し活用した。	学校クラスター0件 デジタル教科書の活用により、遠隔授業だけで なく教室における教員と児童生徒との密な距離 感の対策を図るとともに、学校再開時の学習効 果を高め、未学習の防止に備えることができた。 (令和2年度と3年度で小学校及び中学校におけ るデジタル教科書及び学習ソフトに係る整備が 完了。)
14	単	学校感染症対 策事業	9-2-1-1 9-3-1-1-1	小学校管理費 378千円 中学校管理費 102千円	小学校・中学 校	①各校が感染症対策を徹底しながら学校教育活動を円 滑に運営できるようにする。 ②感染症対策のための消耗品購入経費 ③手指用消毒薬・手袋・マスク等 使い捨て手袋 818円×77=62,986円 ハイター 170円×37=6,290円 3層式マスク 500円×75=37,500円 消毒薬(手指用)1,316円×78=102,648円 アルボナース100ml 565円×20=11,300円 ペーパータオル(10個入)1,182円×31=36,642円 使い捨てエプロン 1,080円×10=10,800円 消毒用アルコール5ℓ 5,830円×5=29,150円 液体石鹸 830円×12=9,960円 カウンタークロス 1,296円×5=6,480円 液体石鹸5kℓ 6,091円×6=36,546円 キムタオル 500円×150=75,000円 スプレーボトル 500円×20=10,000円 合計 435,302×1.1=478,832 合計 478,832円 ④小学校・中学校	R3.4	R4.3	478,430		478,430		感染防止用品購入 小学校 225,274円 除菌ウエットシート、ハンドソープ、ペーパータオル、マ スク、ホリカウ、給水・防水マット、使い捨て手袋、ア ルコール綿、ゴミ袋、蓋付きゴミ箱、フローリングワイ 及びシート、エプロン、キムタオル、パーテーション等 中学校 253,156円 ゴミ袋、除菌用アルコール、使い捨て手袋、霧 吹き容器、ハンドソープ、給水・防水マット、非接 触型体温計等 計 478,430円	令和3年12月まで町立学校関係者の罹患は0人 で、1~3月も30人未満に抑えた。 児童生徒・教職員が一丸となって手洗いや消 毒、パーテーションによる飛沫防止等の対策により、 感染症の拡大防止が図られた。
15	単	家庭学習ソ フト導入事業	9-3-2-1	中学校教育振 興費 214千 円	総務・学校教 育課	①臨時休業における家庭学習の充実及び教室での感染 予防効果や学習効果の向上。 ②学習ソフト導入経費 ③学習ソフト「すらら」利用料: 使用料 132円/人×270名×12ヶ月=427,680円 うち、県補助金(Fその他:鳥取県eラーニング教材活 用等支援事業費補助金)が1/2あるため、 427,680×1/2=213,840円が対象 ④中学校の保護者	R3.4	R4.3	427,680		213,840	213,840	学習ソフト「すらら」を1年間利用出来るアカウント を中学校2校の1年~3年生全員分整備した。	コロナに係る臨時休業時の学びを保障するた めの備えとなったとともに、通常時の授業の補充 を図り、学校再開時の学習効果を高め、未学習の 防止に備えることができた。
16	単	修学旅行にお けるコロナ対 策支援事業	9-2-2 9-3-2	小学校教育振 興費 563 中学校教育振 興費 1,428	総務・学校教 育課	①修学旅行に係る費用の中で、コロナ対策(3密回避)に より、通常を上回る経費や中止・企画変更によって発生す る経費等を町が負担し、保護者の負担増を防ぐ。 ②企画変更料、通常を上回るバス関連経費・宿泊費、引 率経費、当日欠席者分費用 ③コロナ禍の不安等による欠席者分 6,138円 企画変更料 121,178円 バス関連経費 1,251,520円 引率必要経費 106,210円 合計 1,485,046円 ④全校の小学6年生及び中学3年生の保護者並びに引率 教員	R3.4	R3.12	1,485,046		1,485,046		コロナウイルス感染予防対策として、行き先を県 内及び周辺に変更して、小中学校共に1泊2日の 修学旅行を実施した。また、各旅行団のバスの 台数を増やした。 小学校3校 4月実施 中学校2校 9月及び10月実施	修学旅行参加者の罹患0人 修学旅行は、県内及びその周辺へ行き先を変更 して実施したが、実施に当たり、バス乗車率を 50%にすることで、感染リスクの軽減を図った。 また、そうした変更により生じた費用の増額分を 町がすべて負担することで、家計負担を軽減す ることができた。
17	単	「Nanbuまご ころ便」お届け 事業	9-4-1-12	「Nanbuまご ころ便」お届け 事業	人権・社会教 育課	①一人暮らしの若者への健康面、精神面の支援 ②町特産品を送付 ③食材3,000円×200人×2回×1.1=1,320,000円 郵送料1,200円×200件×2回=480,000円 ④18~22歳の町出身者で町外に在住する大学生等	R3.7	R4.3	1,139,382		1,139,382		南部町出身で町外に在住の学生に対し、食材等 の支援を行った。 送付人数:119人、送付回数:2回	ふるさと南部町の味を詰め込んだ「まごころ便」 を送り、食の支援を行うことにより、ふるさとを想 う心の醸成を図ることができた。

計画書 No.	補助・ 単独	交付対象 事業の名称	款項目	事業名	担当課	計画申請書の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費	国庫 補助額	交付金 充当額	その他	実施状況	事業実施による効果(評価)
18	単	図書館パワー アップ事業	9-4-5-1	図書館施設管 理等運営事業	図書館	①本の貸出にあたり、自動貸出機を導入することにより、人と人との接触の機会を少なくする環境を整備する。 ②自動貸出機の導入 ③導入整備委託 1台1,550,000円×2台×1.1=3,410,000円 ④町立図書館(2館)	R3.9	R4.3	3,124,000		3,124,000		町立図書館2館に自動貸出機を整備した。 自動貸出機:2台	本の貸出において、自動貸出機を整備することで、人と人との接触の機会を少なくすることができ、新型コロナウイルス感染症対策の方策の一つとすることができた。
19	単	コロナ受入病 床感染防止対 策事業	4-4-1-1	病院事業費	西伯病院	①感染患者診療、看護対応時に呼吸用保護具を装着し、院内感染防止と従事者の負担軽減を図る ②医療機器購入費 ③707千円 電動ファン付き呼吸用保護具 4セット 附属品(ハーフマスク6個、ヘッドハーネス2個) ④西伯病院感染症対応病床 医療従事者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R3.6	R3.9	706,266		706,266		新型コロナウイルス感染症対応病棟に電動ファン付き呼吸用保護具を4セット整備 新型コロナウイルス感染症患者入院受入状況 ・入院患者実人数 58人(令和3年度) ・入院患者延べ人数 484人(令和3年度まで)	新型コロナウイルス感染患者の診療・看護対応時において、医療従事者が呼吸用保護具を装着することで院内感染のリスクを軽減することができた。
20	単	院内Wi-Fi整 備事業	4-4-1-1	病院事業費	西伯病院	①前年度の無線ネットワークを精神科病棟へ拡充し、オンラインでの面会の機会を増強する。 ②無線機器購入費、工事費 ③2,475千円(アクセスポイント*16台1,306千円 機器設定297千円 配線工事872千円) ④西伯病院の精神科病棟入院患者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R3.6	R3.9	2,138,400		2,138,400		精神科病棟の無線ネットワーク用のアクセスポイントを20台整備した。 オンライン面会実施回数 (R3.11~) ・一般病棟 11.0回/月 ・療養病棟 18.7回/月 ・精神科病棟 5.5回/月	新型コロナウイルス感染症の影響により面会制限を実施していたが、精神科病棟にも無線ネットワークを整備したことでオンラインによる面会が可能となり患者及びご家族の満足度向上に繋がった。
21	単	へき地診療整 備事業	4-4-1-1	病院事業費	西伯病院	①へき地診療実施に当たり、院外からVPNネットワークを経由して院内の電子カルテを参照し、病状、処方、検査結果等を確認し、安心した診療を提供する。 ②パソコン購入費、工事費 ③433千円(PC*2台164千円 機器設定185千円 回線工事84千円) ④西伯病院の患者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R3.6	R3.9	422,314		422,314		へき地巡回診療の実施に必要な機器を2台整備した。 へき地巡回診療実施回数 12回(月1回) ・へき地巡回診療受診者数 延べ58人	準無医地区にて実施しているへき地巡回診療に必要な機器及びネットワークを整備したことで、安心安全な医療を提供することができた。
22	単	院内感染防止 対策強化事業	4-4-1-1	病院事業費	西伯病院	①感染症対策として手作業にて実施している患者用クリアファイルや窓口現金の消毒について、紫外線除菌器を購入することにより医療従事者の負担軽減を図る。 ②紫外線除菌器購入費 ③534千円(本体*2台395千円、付属品一式139千円) ④西伯病院の医療従事者及び患者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R3.6	R3.9	533,830		533,830		外来患者用クリアファイル等を消毒するための紫外線除菌器を1台整備した。 紫外線除菌器使用回数 ・426回(11/10~3/31 142日×3回)	感染症対策として手作業にて実施していた患者用クリアファイル等の消毒について、紫外線除菌器を購入したことで医療従事者の負担軽減と院内感染のリスクを軽減することができた。
23	単	院内感染防止 対策強化事業	4-4-1-1	病院事業費	西伯病院	①感染症対策として現在使用中の布製椅子・ソファを、除菌清拭可能な材質なものへ更新し、感染防止対策強化を図る。 ②ロビーチェア購入費(総合受付前) ③4,057千円(ロビーチェア他一式3,694千円、配送費363千円) ④西伯病院の医療従事者及び患者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R3.6	R3.9	3,969,900		3,969,900		外来待合やエントランスホールに除菌清拭可能な材質のロビーチェアを整備した。 <内訳>ロビーチェア3人用両側肘付 9台 高さ特注ロビーチェア3人用 1台 ロビーチェア2人用両側肘付 12台 竹製ラウンドテーブル 2台 竹製ダイニングチェア 8台 ロビーチェア除菌清拭回数 ・平日 1日2回実施	既存の布製のロビーチェアから除菌清拭可能な材質のロビーチェアに更新したことで、医療従事者の除菌清拭の負担軽減と院内感染のリスクを軽減することができた。
24	単	成人式参加者 PCR検査事業	9-4-1-6	成人式 2,723 千円	人権・社会教 育課	①より安心安全に成人式を開催するため、成人式参加者に対してPCR検査を実施する。 ②PCR検査料、PCR検査キット代、郵送料 ③PCR検査13,500円×150件×1.1=2,227,500 検体採取キット1,500円×150件×1.1=247,500 郵送料(クール便)1600円×70件×1.1=123,200 郵送料(検体キット送付)1,400円×100件×1.1=154,000 ④新成人及び式典参加者	R3.11	R4.3	2,349,600		2,349,600		成人式の参加者に対しPCR検査を実施した。 実施件数:131件	県外在住の参加者も多かったが、PCR検査を実施することにより、感染対策の徹底を行うことができた。
25	単	コロナに負け るな!飲食業 等定額応援金 事業	6-1-1-16	コロナに負け るな!飲食業 等特別応援事 業	企画政策課	①コロナにより経済的な影響を受けている飲食業等事業者の事業継続を支援するため応援金を交付する。 ②応援金 ③応援金200~1,000千円×31事業者=15,100千円 ④町内の飲食業、一般貸切旅客自動車運送業、宿泊業(農家民泊を除く)の事業者	R3.11	R4.2	14,200,000		14,200,000		コロナ前(平成31年1月~令和元年12月)の月平均売上規模に応じて応援金を交付。 ・交付事業者数 24事業者(業種:飲食業19、宿泊業3、貸切バス業2) ・交付金総額 14,200,000円	コロナ禍による外出自粛で、特に大きな影響を受けている飲食業、宿泊業、貸切バス業を営む事業者に対して応援金を交付することで、事業継続の支えとなった。

計画書 No.	補助・単独	交付対象 事業の名称	款項目	事業名	担当課	計画申請書の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費	国庫 補助額	交付金 充当額	その他	実施状況	事業実施による効果(評価)
26	補	学校保健特別 対策事業費補助金	9-1-2-29	学校保健特別 対策事業	総務・学校教育課	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①臨時休校時タブレットを持ち帰っての家庭学習環境を整える。 教室内の児童生徒の密集・密接を回避するため環境を整える。 ②クラウド型ドリル教材、chromebookの購入 遠隔授業の為に機器の購入(映像をchromebookに送信するための変換アダプター、收音ワイヤレスマイクの購入) ホワイトボード購入 ③クラウド型ドリル教材 7,750円×23セット×1.1=196,075円 chromebook 51,000円×5台×1.1=280,500円 変換アダプター 18,500円/台×2台×1.1=40,700円 マイク 8,000円/台×2台×1.1=17,600円 ホワイトボード 128,000円/台×2台×1.1=281,600円 115,000円/台×2台×1.1=253,000円 合計 1,069,475円 ④小学校・中学校	R3.10	R4.3	1,036,975	506,000	506,000		複式で授業を実施している小学校1校にホワイトボード4枚を整備した。 遠隔授業の実施が必要となった際に町立学校で共用できるワイヤレスマイク3個、変換アダプター2個、タブレット端末5台を購入、整備した。 また、クラウド型ドリルを小学校4年生～6年生が使用できるように児童及び教職員用として230人分のアカウントを整備した。	複式学級にホワイトボードを複数枚設置することで学年ごとに正対面を変えることが可能となり、感染リスク軽減が図られた。結果、当該学校において学校関係者の罹患を抑えられた。また、遠隔授業を実施するための機器を整備し、リモート授業やクラウド型ドリルを活用することで新型コロナウイルスによる欠席児童生徒に対しても学びを保障することができた。
27	単	病院専用の コップ・箸購入 事業	4-1-1-1	病院事業費	西伯病院	①現在、入院患者への食事提供では、患者さん自身のコップ・箸を自己管理のうえ使用いただいている。病院のオリジナルコップ・箸を使用することで感染予防強化を図るとともに、医療従事者の食事提供時の業務の効率化を図る。 ②物品購入費 ③460千円(マグカップ、蓋及び箸 各500個 460千円) ④西伯病院の外来・入院患者、通所・入所者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R3.12	R3.12	459,250		459,250		入院患者及び通所患者への食事提供にて使用するマグカップ・蓋および箸を各500個購入した。 マグカップによるお茶提供回数 ・入院患者 1日3回提供 ・デイケア、通所リハビリ等通所患者 1日2回提供	入院患者さん自身に持参いただいていたコップ及び箸について、繰り返し洗浄可能なコップ及び箸を整備したことで、感染予防強化を図るとともに医療従事者の食事提供時の業務の効率化を図ることができた。
28	単	院内感染防止 対策強化事業	4-1-1-1	病院事業費	西伯病院	①受付カウンター等、低位での検温が必要な患者さんに対し、非接触体温検知器を設置し使用することでストレスなくスムーズな体温チェックが可能となる。受付繁忙時等に接触の機会を減らせるとともに密の回避が出来、感染予防強化を図る。 ②備品購入費 ③112千円(非接触体温検知器 2台 112千円) ④西伯病院の患者及び来院者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R3.12	R3.12	9,240		9,240		来院者の体温測定用の非接触型体温計を2台整備した。 来院者の体温測定実施回数 ・来院者全員に体温測定を実施 ・1日平均外来患者数 189.7人	受付カウンター等、低位での検温が必要な患者さんに対し非接触体温検知器にて体温測定を実施することで、接触の機会を減らすとともに密の回避による感染予防強化を図ることができた。
29	単	PCR検査費用 助成事業	4-1-2-7	新型コロナウイルス感染症 対策PCR検査 費用助成事業	総務課	①止むを得ず県外往来を行う方へPCR検査の費用を助成する。 ②検査に係る費用の半額を補助(上限15,000円、2回まで) ③15,000円×7件×2回 210,000円 ④町民	R3.8	R4.3	157,000		157,000		PCR検査助成申請件数 28件 内訳 滞在(南部町→県外)21件 帰省(県外→南部町) 8件	県外から南部町へのやむを得ない帰省等にあたり、PCR検査受検結果をふまえての行動をとることが可能となり、感染拡大防止を図ることができた。
30	単	インターネット 予約システム 導入事業	9-4-2-9	複合施設管理 事業	人権・社会教育課	①「キナルなんぶ」の施設の貸出にあたり、予約システムを導入することにより、人と人との接触の機会を少なくする環境を整備する。 ②予約システム導入委託料、システム利用料 ③導入委託料 880,000円 システム利用料 35,000円×2カ月×1.1=77,000円 ④施設利用者	R3.11	R4.3	550,000		550,000		導入委託料:550,000円 (令和3年12月7日～令和4年3月31日) 利用者登録:35件	施設の貸出方法を予約システムを導入することにより、人と人の接触の機会を少なくすることができ、新型コロナウイルス感染対策の方策の一つとすることができた。
31	単	南部町農業経営 収入保険等 加入促進事業	5-1-5-1	農業振興費	産業課	①農業経営収入保険等の加入促進により、コロナ禍での農業収入の減少に対応する持続可能な経営体を育成する。 ②保険料等掛金の一部補助 ③令和3年度新規加入者 12件 86,354円 ④農業者	R3.4	R4.3	86,354		86,354		新たな農業経営収入保険加入者の保険料等掛金の1/4を補助 ・新規加入件数 12件 ・補助金交付額 86,354円	事業を契機に、コロナ禍による収入減少への不安など社会情勢の変動等外的要因に対応する危機回避の意識が高まった。新規加入者の毎年度の継続加入が期待され持続可能な経営体の育成に繋がっている。
32	補	新型コロナウ イルス感染症 セーフティネッ ト強化交付金	4-1-3-6	自死対策事業	健康福祉課	①新型コロナウイルス感染症に関するところからの健康電話相談窓口を開設しうつや自死の予防を図る ②相談窓口の設置にかかる電話料金、相談窓口案内ポスター・カードの作成に係る経費 ③印刷製本費(電話相談窓口啓発ポスター・カード) 39,105円 通信運搬費(携帯電話通信料) 120,000円 ④地方公共団体	R3.4	R4.3	94,420	70,000	19,536		相談窓口案内の啓発ポスターと携帯用カードを町内企業や施設37箇所に配布。 心の健康相談専用ダイヤル相談件数は0件。	コロナ禍で心の健康状態が不安定になる中、啓発ポスターやカードを町内企業や施設に配布することにより、職場のストレスチェックの結果を産業医や産業保健師等がフォローできているか聞き取りが可能となり、心の健康相談会や専用ダイヤルの啓発をすることができた。

計画書 No	補助 ・ 単 独	交付対象 事業の名称	款項目	事業名	担当課	計画申請書の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	総事業費			実施状況	事業実施による効果(評価)	
									国庫 補助額	交付金 充当額	その他			
33	単	高校生インフルエンザワクチン接種助成事業	4-1-2-2	インフルエンザワクチン接種事業	健康福祉課	①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行による医療機関の混乱を回避するため、子どものインフルエンザ予防接種助成の対象者を高校生まで拡大し、インフルエンザによる発熱患者を減らすことで医療機関の負担軽減を図る ②委託料、扶助費 ③接種見込み高校生100人×1,000円=100,000円(委託料75,000円、扶助費25,000円) ④南部町に住所を有する16歳から18歳までの者	R3.10	R4.3	109,000		109,000		対象者319名に対し、109名(34.2%)が申請を行った。	高校生のインフルエンザワクチンの接種費用を助成することにより感染予防効果が上昇し、インフルエンザの流行による医療機関の混雑を回避し、コロナ患者対応を迅速に行うことができた。
34	単	南部町ぬくもり燃料券配布事業	3-1-1-25	南部町ぬくもり燃料券皮膚事業	町民生活課	①新型コロナウイルス感染症の影響の長期化及び燃料費高騰による経済的負担の軽減を図るため、全世帯へ燃料券(10,000円)を配布する。 利用可能サービス :灯油、ガソリン、軽油、混合油、プロパンガス、カセットボンベ、豆炭 ②消耗品費、印刷製本費、郵送料、その他補助金 ③消耗品費:80,000円 チケット、チラシ印刷製本費:911,350円 チケット等郵送料:1,777,061円(3,757通×473円) チケット換金費:35,445,000円 (3,757世帯×10,000円-850世帯×5,000円×1/2) ④町内の全世帯	R3.12	R4.3	38,773,911		23,178,530		燃料券発送総数:3,757世帯 受取世帯数:3,735世帯(75,140枚) 未受取世帯数:22世帯 受取辞退:9世帯 転出:7世帯 死亡:2世帯 送付不能:4世帯 利用実績:36,020,500円(72,041枚) 利用率:95.9%	燃料費が高騰する中、世帯へ燃料券を支給することで、経済的負担を緩和することが出来た。
35	単	コロナ受入病床感染防止対策事業	4-1-1-1	病院事業費	西伯病院	①感染力の強いオミクロン株に対応するため、感染症対応病床のゾーニングの強化と必要機器の整備を行い院内感染防止を図る ②医療機器等購入費及び施設整備費 ③医療機器等購入費 5,604千円(輸液ポンプ3台1,254千円、生体モニター一式2,860千円、クリーンパーテーション2台550千円他)、施設整備費 785千円(イエローゾーン間仕切り設置工事400千円、廊下床材交換385千円) ④西伯病院感染症対応病床 医療従事者(西伯病院事業会計に繰り出し、上記に要する費用を交付対象経費とする)	R4.1	R4.3	5,558,542		5,558,542		感染力の強いオミクロン株の院内感染防止のため必要な医療機器と設備を整備した。 ・輸液ポンプ 7台 ・シリンジポンプ 3台 ・4床用生体情報モニター 1台 ・クリーンパーテーション 2台 ・殺菌灯2台セット ・収納ユニット 1台 ・感染症病棟廊下間仕切り設置 ・防護服他 医療消耗品 新型コロナウイルス感染症患者入院受入状況 ・入院患者実人数 58人(令和3年度) ・入院患者延べ人数 484人(令和3年度まで)	新型コロナウイルス感染症患者受入病棟において、必要な医療機器の整備と感染症対応病床のゾーニング強化を実施したことで、感染力の強いオミクロン株にも対応した院内感染防止対策を図ることができた。
36	補	学校保健特別対策事業費補助金	9-1-2-29	学校保健特別対策事業	総務・学校教育課	(学校等における感染症対策等支援事業) ①児童生徒の安心安全な学習環境を確保しつつ教育活動を着実に継続する。 ②学校の感染症対策等を講じる取り組み及び児童生徒の学びの保障をするための取り組みに必要な備品及び消耗品の購入 ③プリンター 192,500円(税込み)×4=770,000円 92,400円(税込み)×1=92,400円 クロムブック 56,100円(税込み)×12=673,200円 大型プロジェクター 482,000円 (242,000円×1台、240,000円×1台) ベンチベットの 77,000円(税込み)×1=77,000円 網戸設置 900,000円(税込み)×一式=900,000円 107,800円(税込み)×一式=107,800円 60,500円(税込み)×一式=60,500円 ホワイトボード 354,200円(税込み)×一式=354,200円 301,400円(税込み)×一式=301,400円 パーテーション 341,800円(税込み)×一式=341,000円 スタンド式検温器 83,600円(税込み)×2=167,200円 12,100円(税込み)×2=24,200円 特別支援漢字教材 13,200円(税込み)×1=13,200円 衛生用品等 585,900円 合計 4,950,000円 ④小学校・中学校	R4.2	R4.4以降	4,950,000	-	-	-	令和4年度繰越事業	令和4年度繰越事業